



東北大学



報道機関 各位

平成26年2月21日

国立大学法人東北大学  
独立行政法人海洋研究開発機構

## 東北大学・海洋研究開発機構合同シンポジウム 『ちきゅう』が解き明かした巨大地震のなぞ』の開催について

国立大学法人東北大学（総長：里見 進）と独立行政法人海洋研究開発機構（理事長：平 朝彦）は、この度、合同シンポジウム『ちきゅう』が解き明かした巨大地震のなぞ』を開催しますので、お知らせします。つきましては、市民の皆様に広く周知していただくとともに、当日はご取材の上、紙面、番組等でご紹介くださいますようお願いいたします。

### 1 開催概要

日時 平成26年3月29日（土）13：30～15：50

場所 TKPガーデンシティ仙台 ホールB（仙台市青葉区中央1-3-1AER 21階）

参加 一般対象・参加費無料・事前申込不要・定員300名

詳細 添付チラシ及び下記URL参照

<http://www.rpip.tohoku.ac.jp/sympo140329/index.html>

### 2 開催目的・内容

東北地方太平洋沖地震の発生後、巨大地震と津波を引き起こしたプレート境界断層の摩擦特性の解明を目的として地球深部探査船「ちきゅう」を使った掘削調査が行われました。地震・地殻変動の観測、掘削調査での掘削同時検層や地質試料の採取、掘削孔内での高精度な温度観測等による研究成果について紹介します。

### 3 実施内容

#### （1）講演

「基調講演：2011年東北地震の巨大すべりを理解するための掘削調査」

国立大学法人京都大学 防災研究所 地震防災研究部門 教授 James J. Mori

「深海底探査から分かった大変動の実態」

独立行政法人海洋研究開発機構 地球内部ダイナミクス領域 上席研究員 小平 秀一

「掘削同時検層から分かった海底下の断層」

独立行政法人海洋研究開発機構 地球内部ダイナミクス領域 チームリーダー 斎藤 実篤

「コア試料から分かった滑りのメカニズム」

国立大学法人筑波大学 生命環境系地球進化科学専攻 准教授 氏家 恒太郎

「孔内温度観測から分かった断層の摩擦」

国立大学法人東北大学 災害科学国際研究所 災害理学研究部門 教授 日野 亮太

#### （2）パネルディスカッション

タイトル：『ちきゅう』掘削で分かったこと」

ファシリテータ：久利美和（国立大学法人東北大学 災害科学国際研究所 情報管理・社会連携部門 講師）

パネリスト：上記講演者（5名）

以上

#### （お問い合わせ先）

○独立行政法人海洋研究開発機構 事業推進部産学連携課

TEL：046-867-9230 E-mail：renkei@jamstec.go.jp 担当：笠谷 宮澤

○国立大学法人東北大学 産学連携推進本部事業推進部

TEL：022-217-6043 E-mail：liaison@rpip.tohoku.ac.jp 担当：後藤 岩渕